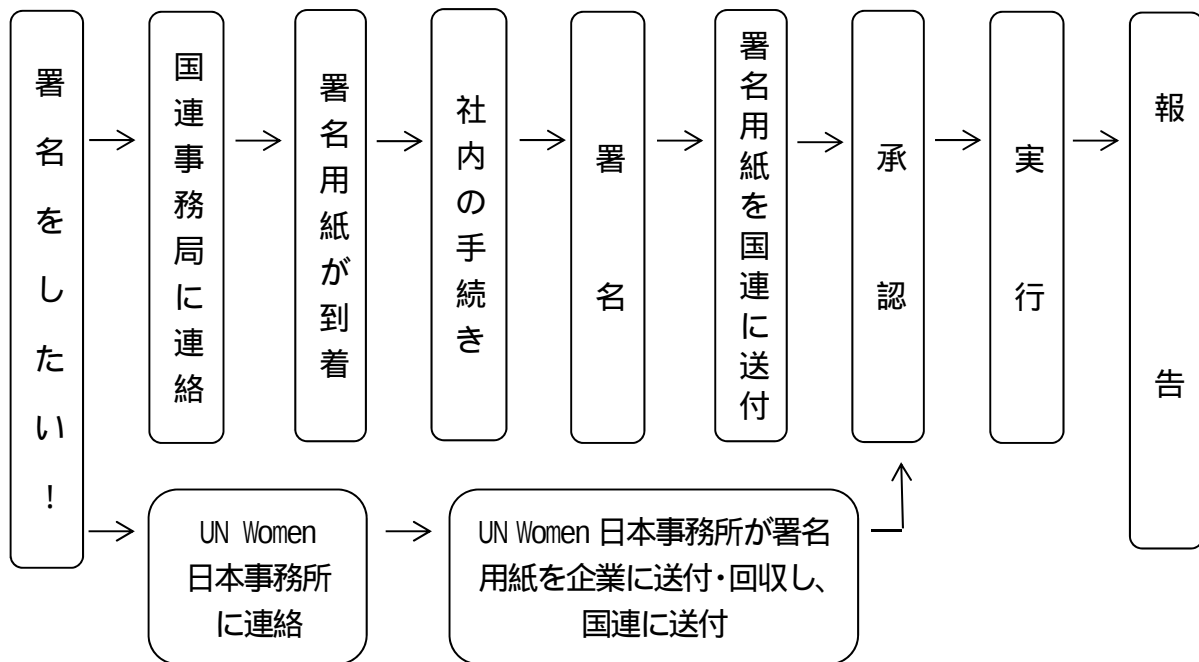


署名企業における WEPs の実行プロセス



これまでの署名企業の例

1 署名のきっかけ

- UNIFEM（現 UN Women）日本国内委員会からの情報提供があった。（A 社）
- UN Women 日本事務所顧問が支社に来て、WEPs の話をした。理念として反対することはないので、署名した。（B 社）
- 支店を通じて署名を勧められた。取り組むのはよいことなので、署名をした。（C 社）

2 署名の手続き

- トップの一声で、署名をした。（A 社）
- 署名の際に任意として寄付（1 口 200 万円）の話があったが、お断りした。（B 社）
- 署名手続き後、ニューヨークから受付済メール（定型のもの）が届いた。（B 社）

3 署名後

- 署名後は、WEPs 事務局から、毎年 3 月に開催される WEPs 会合の参加案内が来たり、企業の取組例へのインタビュー要請等がある。（A 社）
- WEPs 事務局から英文のメールが数か月に 1 回届くが、対応していない。（B 社）
- UN Women 日本事務所からは、署名後は国連のウェブサイトには社名が掲載されるのみであり、やるべき義務はないと聞いた。（C 社）

4 報告

- 報告については、企業に新たな負担感を感じさせないものがよい。（A 社）
- 報告の内容として、CSR 報告書以上のものを求められても困るだろう。（B 社）

5 その他

- WEPs を広める活動がもっとあれば、と思っている。（B 社）
- WEPs についての社内の担当部局がわからない。答えられない。（D 社）